幸手市 市制施行40周年

SATTE CITY 幸手市 市制施行40周年
きっと、ずっと、幸手

Satte City 40th Anniversary

幸手市は、昭和61(1986)年10月1日に市制を施行し、今年で40周年を迎えます。

先人たちの努力と、市民のみなさんの支えがあってこそ、今の幸手市があります。この特集では、30～40年にフォーカスをあて、幸手市のこれまでの歩みを世の中の出来事と振り返り、未来へ向けた思いをお届けします。

過去の出来事

START

2016年(平成28年)
市制施行30周年

市内全校で
放課後児童クラブ
運営開始

小中学校の普通教室に
エアコン設置

2017年(平成29年)
第2保育所
新築移転

2017年(平成29年)
第2庁舎にふるさと
ハローワーク
オープン

広報さって
表紙リニューアル

豊洲市場
開場

2018年(平成30年)
郷土資料館 開設

働き方改革
関連法成立

落語家 三遊亭楽生さんを
しあわせ応援大使に任命

HP
市制施行から40年までの詳細はこちら!

権現堂初 ひまわり
3万本植栽

新型コロナワクチン
接種開始

小中学校に
プログラミング
教育ソフトを導入

レジ袋
有料化

幸手から東京パラリンピックの
聖火リレーがスタート

GIGAスクール
開始

2020年(令和2年)
古川橋 架替工事完了

東京五輪
開催

2021年(令和3年)
小中学校にタブレット
端末配布

COVID-19
新型コロナ流行

新元号
「令和」
に改元

東口

幸手桜高等学校 演劇部を
しあわせ応援大使に任命

県道幸手境線バイパス
(令和橋)開通

西口

satte
このまちが好き 幸手市
シティプロモーション
ロゴマーク決定

新型コロナ
変異株
流行

2019年(平成31・令和元年)
幸手駅橋上駅舎・
東西自由通路完成

第27回全国
さくらサミット
in幸手 開催

ベナン共和国との交流
(東京五輪推進本部よりホストタウン登録)

2022年～
NEXTPAGE

幸手市での主な出来事(市制施行～30周年)

1986年～1996年(市制施行～10周年)
東さくら通り開通、南公民館、勤労福祉会館、東公民館、コミュニティセンター、ひばりヶ丘球場、市営釣場神扇池、アスカル幸手、さくらの里オープン、香日向小学校開校、行幸湖、大島新田調節池完成、第1回さくらマラソン大会、幸手市民まつり開催

1997年～2006年(11～20周年)
さくらふれあい広場、なのはなの里、ウェルス幸手オープン、幸手市公式ホームページ公開、第1回あじさいまつり、曼殊沙華まつり、ドラゴンボート大会開催、外野橋完成

2007年～2016年(21～30周年)
第1回水仙まつり開催、燃やせるごみの有料化開始、幸手駅東口停車場線・駅前広場が完成、県道加須幸手線バイパス、圏央道幸手インターチェンジ開通、図書館香日向分館がオープン、ウェルス幸手に子育て総合窓口を設置